

無断転載禁止

土木技術者女性の会

輸人

2004年 特別号

## 会長に就任して

佐藤 厚子



佐藤厚子です。この会に入って15年以上が過ぎました。いつ入会したのか良く覚えていません。いつでもいいのです。実は、会ができたことは知っていました。職場の上司がこんな会があるけどと言って紹介してくれたのです。そのときは、今まで、学校の時は女子がひとりだったし、そんなに悩みもなく楽しかったし、今さら女の人の集団に入る必要があるのだろうか・・・と思い入会をためらっていました。

しかし、今から20数年前、女の技術屋さんは周りに一人もいない時代でした。何年か前にはいたようですが、結婚退職したと聞いたことがありました。このため、周りの人は、私にどんな仕事をさせ、日々どんな風に扱えばいいのかがわからない状態でした（私にもそんなときがあったのです）。とにかく周りの人に負けたくない、負けられないという気持ちが強く、なんだか空回りしていたような気がします。そのときに上司から教えてもらったこの会のことを思い出し入会しました。

会に入った当時は、会の人たちはいつも「男女の差がなくなりこの会が自然消滅するときが来る日を待っている」というようなことを言っていたような気がします。そんな日が来るのかな・・・と思っていました。

最近、土木屋さんの女の人もずいぶんと増え、現場や学会で女の人を見かける機会が多くなり、時代は変わってきているなと思います。

ところが、こんなに時代は変わっているのに、私にとって悲しいことが、最近2つありました。ひとつは、30歳くらいの男の人が私の下についたときのことです。私の仕事は現場で困っているときがあったら相談にのったり、そのことを解決するための方法を検討したりすることです。したがって、会社組織の中グループで仕事をする場合と違い、私の下についたからといってもそんなに上下関係がはっきりしているわけではないのです。ところが、その人は、私に「佐藤さんは、いい人だけど下について仕事することは我慢ができない」と言いました。すなわち、人間としては上司になってもいいのだけれど、女の人だから、自分がその下で働くということができないということです。私はどうすればいいの？これってとても悲しいことです。

もう一つは、札幌のある大学の就職担当の先生と話をしたときのことです。最近、女子学生が増えて就職が大変だと言っていました。きっと会社の人には女性をあまりとりたがらないのかな・・・と思ったのですが、次の一言がもっとつらいことでした。「去年この会社（ある大きなコンサル）に女子学生を送ったから、今年はここに送るわけにはいかない」といったことです。大体女の方はまじめだから成績だって優秀なはずでそのことを一番よく知っている学校の先生までもが、そんなことを私の前（とりあえず女の人）でいうなんて！しばらく暗い気持ちでいっぱいでした。

こんなことがあるのだから、やっぱりこの会に参加して元気になるてはいけません。それに、昨日ある大学の先生から、「あの女性の会（私たちの会です）はまだあるのかい？うちの学生が抱えている悩みをきいてやってくれないか？」といわれました。やっぱりこの会は必要です。

皆様この会に参加して元気になりましょう！

## 土木技術者女性の会 第23回総会議事録要旨

平成16年6月26日開催

### 1. 開会

### 2. 会長挨拶

- ・「女性監督官暴力団に絡まる」の話題提供。  
「何も悪いことはしていない、人のための仕事をしている」という姿勢で胸を張って仕事をして行く。
- ・総会という場で、全国各地の色々な事例を身に吸収しようと思っている。

### 3. 平成15年度活動報告

#### 3-1. 役員会・事務局・地区活動報告

##### (1) 役員会活動報告

##### (2) 事務局活動報告

##### 1. 会員動向

1) 会員数 162 名（北海道地区 22 名、関東地区 85 名、中部地区 25 名、関西地区 30 名）

##### 2-2. 会費納入状況

- ・経費の削減、事務作業の軽減が必要→地区代表に未納者リストを送付して、地区活動の際に呼びかけをするなど

##### 2-4. 対外対応について

- ・表 -1 平成 15 年度対外対応「女たちの便利帳」：2 年に 1 度発行されているシステム手帳にはさむ情報シート

##### 2-5. Civil Engineer の扉について

- ・残 100 部弱→特に就職活動で好評を得ている。出身学校の就職担当などに働きかける等して、販売に協力をお願いしたい。また、完売後は新たな編集を行って改訂版の発行を考えている。

#### 3-2. ワーキンググループ活動報告

##### (1) ホームページ WG

- ・ホームページは総会資料集に載っている URL において会員向けに公開を行っているが、一般には公開しておらず、検索ページなどからはヒットしないように制御を設けている。
- ・会の概要などのページを紹介している
- ・役員はすでに閲覧済み。ボランティアで作ったものだというのが申し訳ないくらいとてもすばらしい出来である。
- ・掲示板などの運用を計画中
- ・会員の方々には、是非一度見てもらって意見をいただきたい。

#### 3-3. 平成15年度決算報告・監査報告

- ・平成15年度決算報告 収入の部 (B) 雑収入「スーザン・G コーメン乳がん基金」について  
スーザン・G コーメン乳がん基金とは、乳がんで亡くなられた周囲の方が作った団体で、日本でもその活動を広めていこうと計画中である。その活動を行うにあたって、国内でのニーズアセスメントを

調べてから日本に進出するかどうかを決定したいとのことであり、そのために乳がん患者 400 名、一般者 400 名、医療関係者 200 名からのアンケート調査を収集する必要があった。土木技術者女性の会としては輪に同封する形でそのアンケート調査に協力した。その際のアンケート発送料としての 28,000 円雑収入（郵便切手）があった。近々、スーザン・G コーメンからアンケート結果が公開されるので、女性の会 HP にリンクを貼るなどして会員に公開して行く予定である。

#### 4. 平成 16 年度活動計画

##### 4-1. 活動方針案

- ・別添資料：会則改定（案）について説明

##### 4-2. 役員案

- ・別添資料にて説明

##### 4-3. 役員会・事務局活動計画

- ・役員会開催方法について

今年の総会前の役員会開催において、スケジュール調整がうまくいかず、事務局に負担がかかることを承知で、ML にての役員会開催を試行してみた。

その反省点として、

- ・ML 管理者の時弘氏に多大なる労力がかかってしまった。
- ・資料が揃わなかった。（1 ヶ月間資料の督促に追われた）
- ・メール数が莫大になり、数日不在でメール確認が出来ないでいると 100 通くらいのメールがたまっており、その全てに圧縮された添付ファイルがついていて、現実的に整理できなかった。等があげられた。

今後も、総会前後の役員会については、総会の議決になったこと、出された意見についてその後反映すべく役員会は開催しなければならないが、役員員のスケジュール調整は非常に難しい。今回の反省を踏まえて、方向性をしっかり討議していかなければならない。

##### 4-4. 地区活動計画

##### 4-5. ワーキンググループ活動計画

###### (1) ホームページ WG

今後の活動方針に対する意見として、

- ・「輪」の編集と同じように各地区に WG メンバーを設ける。
- ・参加しているという意識を持った上でみんなが意見を出せる、情報を投稿していくという体制作りをしていくべき。
- ・公務員は民間の HP 閲覧、民間に所属する人とのメール交換を仕事に行うことはできないため、携帯サイトを作成してもらえないか？

→簡易版としての携帯サイト作成を検討する。

- ・関西地区で ML 運用を図っていたときに、選挙で利用したいという人が出てきた事例もあり、何らかの制約を設けたほうが良い。
- ・HP についても「輪」の査読のような何らかのルール作りが必要。HP を作る担当の他に、内容を吟味する担当も別に必要である。

#### 4-6. 平成 16 年度予算計画

予算編成に対する意見として、

- ・「輪」の発行方式について：予算上大きな出費となっており、pdf 化するなどの検討が必要である。ただし、pdf を見ることが出来ない人もいるため、その点については別途考慮が必要。
- ・会費未納者について、現在は 3 年間「輪」を送付しているが、これが多大な損失になっているのではないか？

→「輪」を送付していることによって、繋ぎとめている部分もあるので、その年数などについて今後の検討課題としたい。

- ・今後は会員数の増加によって、収入を増やし、活動を活発化させていく。(数年前までは、会員数増に対して事務局での労力が大きく対応が困難だったこともあったが、現在では事務局での会員情報管理をスリム化させ、今後は会員増に対応できるようになった。また、HP 上での入会が行えるようにもするなど、会員増についての対策を今後も検討していく。)

会費値上げについて

- ・土木技術者女性の会が作られて、今年で 21 年目を迎え、対外的にこの会の今までの活動が評価されて来るようになって来た。21 年我慢して頑張ってきた甲斐がやっと現れて来ており、今後も会の活動を大切にしていきたい。また、土木女子学生の就職状況がまだまだ大変なものであることなどを踏まえ、この会の今後の活動はまだ必要であると考え。それに対して、今後、お金が足りなくなるのは見えていて、今のままでは運用準備金を食いつぶし活動が出来なくなってしまうのが見えている。会の活動も活発になって来たこともあり、会費の値上げを検討しても良いのではないか。(現在の会費は 15 年ほど前に 1,500 円から 3,000 円に値上げされたときから変わっていない。)
- ・値上げが会員減少に繋がらないような検討も必要では？
- ・地区活動+年 2 回の「輪」送付ということ考えると、3,000 円は妥当ではないかと思われる。
- ・大半の会員は年 2 回の「輪」を受け取って、会費 3,000 円を支払っているが現在の所、苦情は出てきていない。会費値上げということであれば、活動を活発化させて、その会員に参加を促すべきではないか。
- ・会費の納入に関して、納入口座を郵便局に統一する、納入期限の赤印表示などの工夫をしてきたが、これ以上の工夫は難しいと思われる。コンビニ納付という意見もあったが、手数料が高く利用できない。未納の個々人に納付をお願いしていくしかない。

#### 5. 『輪』2004 年夏号編集方針について

夏号は公開版として、総会報告を中心に作成していく。

- ・総会の準備～終了まで
- ・出席者からの感想
- ・「HP の公開をしました」という情報
- ・Civil Engineering への扉：完売をして次版を作成したいという提案
- ・今後は各号何らかのテーマを設けて、会員からの意見を掲載していく。夏号は「道をつくる」
- ・さゆりんのページ

という構成を考えている。

## 6. 第24回総会について

- ・第24回総会は中部地区での開催が、前回総会で承認済み。
- ・中部地区世話役 高原氏→小畑氏に交代になり、補佐所氏を中心に総会を計画していく。
- ・来年は愛知万博の開催年。一昨年の総会で近くを通っていることもあり、その後を見るという意味も含めて、(総会そのもののスケジュールとしては組み込まないが)万博に行きたい人が行けるようなスケジュール調整を行った方がよい。
- ・愛知万博においては、開催までの裏方の交通関係について非常に興味深い報道等がなされているので、それをテーマとした勉強会などを行って欲しい。

## 7. 次々回総会開催地について

- ・関東地区立候補→承認

## 8. その他

### (1) 坑内就労制限について

- ・関東・関西地区の会員から「シールドの監督員を突然はずされるという問題があり、会としての対応方法を検討して欲しい」との要望があって、今回の提案に至った。
- ・トンネル現場での監督員としての事例は今までもある。その就任については、資料内にあるILOの除外規定(管理の地位にあって筋肉労働をしない女子、その他筋肉労働の性格を有しない職業のための随時坑内に入る必要がある女子)という解釈であったと思われる。
- ・しかし、今回、東京都水道局、大阪市がこのような判断をしたので、これ以上この動きが波及しないように、トンネルでも働きたい人は働けるという土台を作るべく、要望書を出すことにした。
- ・この問題について、私たち女性がどのようにしたいのかを、HP 掲示板を利用するなどして会としての意見をまとめていく必要がある。
- ・国は法改正の要望がないと動くことが出来ないため、要望書を出すということの必要性が発生する。
- ・要望書は、土木技術者女性の会→日建連→経団連を通じて提出することになる。

## 9. まとめ

### 参加した方の感想

- ・地区活動について参加人数が少なく開催が出来ないという意見があったが、勉強会を会員の講師に行うなど無理をしない方向で考えていくと良いのではないかと。
- ・坑内労働について、シールドの現場で来てくれるなどいわれた経験がある。その辺りの実情も踏まえてWGの活動をお願いしたい。
- ・今回は同地区での開催ということで参加したが、参加できて非常に良かったと思う。次回は遠くても是非参加したい。
- ・総会に参加して、今後も問題意識を持ちながら仕事をしていきたいと思った。
- ・会のひとりひとりが意見を持って、反応を大きく表現して欲しい。今後の会の活動に期待している。
- ・ちょっとしたところから声をかけて、若い人が参加できるような体制作りを行っていきたい。

## 10. 閉会

## 京極発電所建設現場見学会に参加して

北海道地区 南 朋恵

新千歳空港からバスに揺られつつ京極町までの道すがら、伊藤さん・江森さんより北海道の道路についてのお話がありました。北海道開発局では、「道の駅」スタンプラリーやシーニックバイウェイ北海道といった取り組みをしています。←ちょっと宣伝です。

現場事務所に到着して、京極発電所の事業概要及び工事概要の説明を受けました。詳しい内容は島村さんにお任せして、作業服に着替え、ヘルメットをかぶりいざ現場へ。



説明風景



作業員の方たちの宿舎（小さな住宅地のようなでした）

ダム現場を見学したことのなかった私にとっては、スケールの大きさに驚くばかりでした。上部調整池の現場では、丁張りなしで重機が作業していました。秘密の円盤のおかげだそうです。法面の吹付には在来種の種を使用している等の工夫も紹介していただきました。



ダム堤体の材料



ダム軸



現場の様子（完成時右半分は水の中になってしまうそうです）

シーニックバイウェイ北海道：“みち”をきっかけとして、地域の方々と行政が連携し、沿道景観の保全・改善などによる「美しい景観づくり」、地域固有の資源の保全・活用などによる「地域住民が誇れる地域づくり」、来道する観光客へのきめ細かい地域情報の提供などによる「個性的で居心地の良い北海道づくり」を行う仕組み

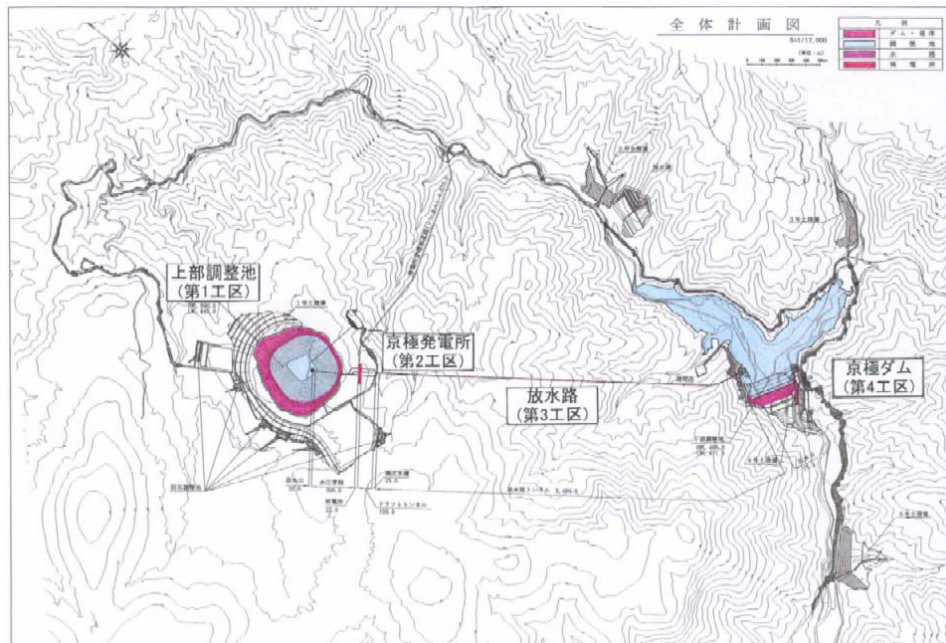
## 京極発電所見学会

### <見学スケジュール>

1. 工事概要説明	京極ダム作業所事務所会議室にてビデオを用いて説明
2. 上部調節池工区見学	鹿島JV展望台から全体説明(調節池掘削(GPSを利用したIT施工)・下部ダム用コア材採取場等)
3. 京極ダム(下部ダム)工区見学	前田JV右岸展望台から全体説明(本体掘削)付替道工事のルートを徒歩にて見学(橋梁工・法面緑化工・箱型擁壁工・地すべり対策工・土留工(テールアルメ)、法枠工・法面保護工(ジオファイバー工)等)土捨場工事(地盤改良工事説明)
(その他)噴出し公園	名水百選に選ばれている道内でも指折りの名水である京極町噴出し公園にて休憩

### <工事概要>

発電計画		調整池		
発電所所在地	北海道虻田郡京極町字春日	名称	上部調整池	下部ダム(下部調整池)
水系及び河川名	尻別川水系 ペーペナイ川	河川名	-	尻別川水系 ペーペナイ川
発電方式	ダム水路式(純揚水)	位置	北海道虻田郡京極町字春日	北海道虻田郡京極町字春日
最大出力	60万kW(20万kW×3台)	流域面積	-	51.3km <sup>2</sup>
最大使用水量	190.5m <sup>3</sup> /s	ダム型式	アスファルト表面遮水壁型 ロックフィル	中央土質遮水壁型 ロックフィル
有効落差	369.0m	ダム高さ	22.6m	54.0m
運転開始(予定)	1号機 平成20年10月 2号機 平成25年以降	ダム長さ	1,108.6m	332.5m
		堤体積	125.1万m <sup>3</sup>	126.9万m <sup>3</sup>
		満水位	EL.890.0m	EL.486.0m
		利用水深	45.0m	14.5m
		総貯水量	4,400×10 <sup>3</sup> m <sup>3</sup>	5,546×10 <sup>3</sup> m <sup>3</sup>
		有効貯水量	4,120×10 <sup>3</sup> m <sup>3</sup>	4,120×10 <sup>3</sup> m <sup>3</sup>
		堪水面積	0.16km <sup>2</sup>	0.39km <sup>2</sup>





# 講演会報告

北海道地区 伊藤優子

講師：北海道ニセコ町長 逢坂誠二氏

テーマ：みんなが同じ土俵に立てる仕組みづくり

～～民主主義の源泉、「できないから」の脱却、そして今～～

まずは、こんな記事から紹介します。

佛教大学(京都市)が全国の市区町村長を対象に「手本にしたい自治体」をアンケートしたところ、北海道のニセコ町が1位に選ばれた。1745の市区町村長が回答し、うち38人が全国初の「まちづくり基本条例」を制定し、住民への情報公開に力を入れるニセコ町を選出した。次いで、太田市(群馬県)、湯布院町(大分県)が選ばれた。逢坂誠二・ニセコ町長、「とても光栄でうれしく思う。この評価に甘えることなく、『住むことが誇りに思えるまちづくり』の実現を目指し今後も全力を尽くす」とコメントしている。他自治体の首長から評価された理由については「『情報共有』と『住民参加』を基本理念としたまちづくりの姿勢と取り組み、それらを明文化した『まちづくり基本条例』の策定などが評価されたと思う」と述べている。

(2004.07.23)東京読売新聞

## 1.自治とは何か

企業に社是があり、達成目標を掲げて行動するように、自治体も「自らが考え、自らが責任を持って行動する」ことが必要だ。その約束ごととして、まちづくり基本条例があり、情報の共有と住民参加が必須条件である。

## 2.ニセコ町の実践

### (ア) コミュニケーション

住民とともに自治を考えるためには、多種多様な情報公開や住民参加の場が必要。それがコミュニケーションのはじまり。

### (イ) できない理由から脱却して、どう実現するか

できない理由を並びたてるのではなく、どう実現するか考えよう。ハードの整備は完成ではなく、どう使うかというスタートに立ったにすぎない。

### (ウ) 評価と達成感

責任ある個々人として、住民に当事者意識を持たせるには、適宜評価を与えることが必要。達成感につながる。

### (エ) 交流のない所に発展はない

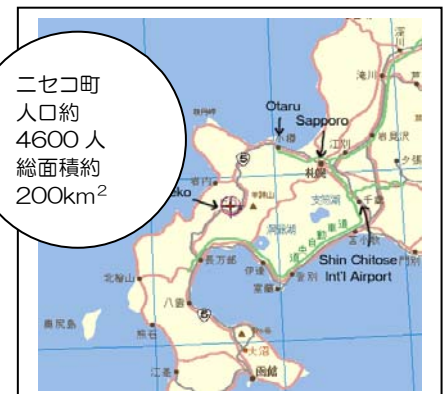
組織に積極的に異物を入れる。新しい風が入ると組織の動きを相対的に見ることができるため、運営方針に大きなブレが生じない。

## 3.まとめ

多様な価値観を共有するには、当事者意識と想像力が鍵となる。相手の対場を思い量ることができるかということでしょう。



本日の講師は、この逢坂町長です。講演会等で紹介される時の枕詞は「いま、自治を語る上で欠かせない首長さんのお一人。まちづくり基本条例制定をはじめとする改革派若手首長。」逢坂誠二さんということころでしょう。



## ニセコ町まちづくり基本条例

『まちづくりは、町民一人ひとりが自ら考え、行動することによる「自治」が基本です。わたしたち町民は「情報共有」の実践により、この自治が実現できることを学びました。』ここから、次の4項目を柱とする町民の共通ルールができました。

- 1) ニセコ町のまちづくりすべてにかかわる条例です。
- 2) 「情報共有」と「住民参加」が2つの柱です。
- 3) 「自治」が最終目的です。
- 4) 条例の理念を「育てること」が大切です。

### 講演会開催までの経緯

年に一度の総会は、視野を広げる刺激的な時間です。特に、支部が趣向をこらす見学会は、技術の変遷と個人史が交錯し、記憶の糸口となっています。広島では温井ダム、名古屋では・・・、大阪では・・・と記憶がフィードバックしてしまいます。構造物の建設現場は魅力的です。ましてや、島村さんのように素敵な現場担当者が案内してくれるなら最高です。

といいつつも、私の仕事は現場からずーっと離れたところにあり、構造物ができる以前の構想や計画にあります。そんなことも知っていただきたいと思い、この講演会を企画しました。

まちのアイデンティティよりも、どこのまちにも通用する計画書づくりを繰り返すコンサルタント、それを受け入れてきた自治体。そんな馴れ合いの構造に風を入れたのが、ニセコ町(だと思っただけ)。小さいからできるのではなく、まちにゆとりがあるからできるのではなく、「わが町はどうあるべきか」と考える首長が現れたのです。それが、全国に先駆けた「まちづくり条例」制定につながります。ニセコ町長は、生粋のニセコ町人。まちの中に実家があって、大学を卒業して生まれ故郷のニセコ町役場に就職。30代で係長から町長に立候補し、現在3期目。先の北海道知事選で話題になった方です。とにかく忙しい方で、今回も3時間離れた札幌の大学で講義を終えてから、この会場に到着。終わると隣の会場でゴルフコンペの表彰式。

「逢坂さんのおうちはどうなっているの？」本当は、こんな質問をしてみたかったのです。精力的に仕事に励む男性は素敵ですが、これが連れあいだと思っただけでまんないですね。ニセコ町長に初めてお会いしたのも、北海道ではなく、なぜかは早稲田大学の講堂でした。ニセコ町のことは知らなかったけれど、若くて、はぎれのいい語り口が新鮮でした。そうしているうちに、全国区の著名な町長さんになっていました。何度か講演を拝聴しましたが、最後はなぜかおぼさんに囲まれているのです。私も、今回の講演依頼のために追っかけをしたのですが、同世代またはちょっと上のご婦人たちに阻まれてお話ができず、結局は伝手を頼って面会となりました。ただ、その後はとんとんとことは運びました。

講演会に参加した方の感想をまとめると、「情報の共有」「評価と達成感一人の育て方使い方」に共感を覚えた方が多いようでした。組織の大小ではなく、みなさん同じところで同じような課題を抱えているようです。

以上

## 総会に参加して

北海道地区 木村 美奈子

私が総会に参加するのは、北海道の登別で総会が開催された平成13年度以来、3年ぶり、2回目でした。今回は、子供が生まれてから初めての外泊でしたので少し心配でしたが、たまに育児と家事からの息抜きをした方がいいだろうと夫も言うてくれましたし、勉強もしたいなと思いましたので、10ヶ月の子供を実家から来てくれた母と夫に託して、総会に参加しました。

### ○現場見学会

今回は、前田建設（株）の島村亜紀子さんが以前担当されていた「北海道電力京極発電所 建設現場」を見学しました。京極発電所は北海道で初めての純揚水式発電所で、上下2つの調整池から成る大変大きな現場でした。現場内の移動はバスでしたが、上部調整池に近づくとガスがかかり、気温も下がり、標高差を感じました。上部調整池では、IT(情報技術)の活用が印象的でした。重機の位置をGPSによって確認し、設計データと照合させて自動制御しています。また、島村さんが設計した地滑り



対策工事現場、土捨て場等も見学させていただきました。島村さんを始め、前田建設（株）の方々の説明は丁寧で、大変分かりやすかったです。私は衛生工学の出身ですので、これまでに工事現場を担当したことはなく、今後も担当することはないだろうと思いますので、女性の会の現場見学会はとても貴重な経験になります。今回もとてもよい経験になりました。

### ○東山プリンスホテル

ニセコ町の東山プリンスホテル（ゴルフ場やスキー場があるリゾートホテルです。）に宿泊しました。運良く（?）、それとも2日目に講演会が予定されていた逢坂ニセコ町長の配慮があったのでしょうか、最上階に宿泊することができました（帰宅後、夫に話すと「イヤ、あそこの最上階はT会長のプライベート専用と聞いたことがある」とのことですが・・・）。部屋の大きな窓からは、芝生の緑が美しいゴルフ場を一望する事ができ、とても爽快な気分になりました。

お風呂は温泉で、露天風呂がありました。なぜか露天風呂の前にコイが泳いでいる池がありました。お風呂のお湯が池に流れ込むため、池の水の温度は高くなっていたはずですが、温泉水の流れ込むところにコイが群がり、気持ちよさそうに泳いでいました。

### ○夜の懇親会

所会長の挨拶で始まった懇親会は、立食・バイキング形式でした。お料理はどれもおいしく、開始直後より皆さんもりもりと食べるので（もちろん私もです!）、お料理が足りなくなるのではと心配になりました。飲み物も、女性の集まりですので飲み放題にしないほうがお得なのではと思われましたが、この会には意外（?）と酒豪が多く、途中で飲み放題コースへと変更しました。

支部ごとに自己紹介を行い、また山本美子さんの誕生日を小さなケーキとHappy Birthdayの歌でお祝いました。おいしい料理に舌鼓みを打ちつつ、会話がどんどん盛り上がる中、1次会は終了しました。

#### ○総会

総会では、地区活動報告や役員会、事務局報告の他に、ホームページや今後の会の予算、女性の坑内就労制限等について、活発な討論が行われました。私にとって印象に残ったことは、会の予算が足りなくなっていることです。会費値上げの必要性、「輪」の発行が予算を圧迫していること等が議論されました。地区活動と年2回の「輪」の発行ということを考えると、私は現在の年3,000円くらいが妥当な会費ではないかと思いますが、今後足りなくなってしまうことは確実とのことですので、会費値上げも仕方ないのかもしれませんが、先送りを続けることなく、早いうちに方向性を定める必要があるように思います。

#### ○ニセコ町 逢坂町長 講演会

ニセコ町の逢坂町長は、北海道ではかなり有名な人ですので、講演会をとっても楽しみにしていました。講演の前半部では、民主主義や自治の話がされていたのですが、正直なところ私には難しく、あやうく居眠りをしてしまいそうになりました……。後半は、ニセコ町の町役場でのエピソードなど、具体的な話が多く大変興味深く聞かせていただきました。逢坂町長によれば、公務員としてルーチンワークの仕事をしていると、それが当たり前で、何かがおかしいという疑問を持ちにくくなるようです。公務員である自分の仕事の中にも市民の視点から見ると無駄が多い・あるいは必要の無い仕事と映るものは、意外と多いのではないかと感じました。今後の仕事に、反映させてゆきたいと思います。

#### ○最後に

見学会や懇親会、総会、講演会のどれもが充実した内容で、総会に参加してよかったなあと思っています。全国で頑張っている女性技術者仲間のお話を聞くと、自分も技術力そして人間性を磨きつつ、今後も頑張っていこうという想いが新たになります。これからはますます土木技術者女性の会の活動が活発になることを祈念しております。



### 出張の友

横浜の新しい顔といえば、みなとみらい線でしょう。今年の2月1日に開通したぴかぴかの電車です。横浜駅からみなとみらい21地区を経て元町・中華街に至る延長4.1km、全線地下構造の鉄道です。この間、横浜駅を始め、新高島、みなとみらい、馬車道、日本大通り及び元町・中華街の6駅が設置されています。横浜駅からは東急東横線との相互乗り入れで渋谷まで一本で行くことができます。

このみなとみらい線のみなとみらい駅のみらいチューブ(早口言葉みたいですが)にぜひ一度立ち寄ってみてください。ホーム上のコンコースのことです。何がおもしろいって、おもしろいんですよ。アーチ型壁面に設置された大型スクリーンに映し出されている映像が、通行する人の近づく、横切る、立ち止まるといった動きに反応するんです。1時間のうちに12の映像が現れて、行き交う人々をからかい、あ、ちがうか、楽しませてくれます。人の動きに合わせて、いろいろな色の「まる」が膨らんだり縮んだり、ドレミのメロディーが流れたり、一つが終わると次も見たくなり、結局1時間そこで油を売ることになってしまうかもしれません。

## 北海道総会の感想

関東地区 西崎 真由美

横浜、大阪に続き3回目の総会参加となりました。女性の土木技術者が増えているとは聞きますが、総会の参加者はある程度固定メンバーのようで、「以前もお会いしましたね」という方が大半だったような気がします。



今回の現場見学会は我が社施工の京極ダムということで、大変楽しみにして行きました。ダム現場を見るのは私も初めてだったのですが、規模の大きさに圧倒されるばかり！ダンプ、バックホウ。。。東京で現場をやっている私にとっては、近隣なし！埋設なし！施工規制なし！のなかで、まさに自然との戦い仕事は、土木の醍醐味だとつくづく感じました。本来、道が無いところに道を造り、橋が無いところに橋を掛け、人間が快適に住める第一歩を造る「土木」というものに憧れてこの業界に飛び込んだものですから、尚更。いつかはこのような仕事をしてみたいものです。

さて、私がこの会に参加したきっかけは、弊社の女性技術者の方に誘っていただいたことから始めました。「技術者」という言葉に結構重たい会なのかなあ、という印象を受けましたが、参加してみて、実に多岐にわたる職種の方が来ていることにびっくりしたと共に、土木というのは奥の深いものだなあと実感しました。この会で現在求めることは、やはり横の繋がりがなかと私自身は感じていました。しかし、会社の上司の見方は多少違うようで、「女性の会」のメンバーとして活動するなら、それなりの成果、実績をあげる努力をなささい。というような話をされました。「女性の会」存続については賛否両論あるようですが、私としては、もっと参加者を増やして社会的にもアピールしていけたらいいなと考えます。坑内ワーキングの件等、女性が技術者として働くには、土木の世界はまだまだ閉鎖的な部分が多いのではないのでしょうか？より働きやすい環境を作るには女性の会内部だけに留まらず、外部に発信することが必要だと思います。今回の総会に参加して、HPの立ち上げや坑内ワーキングの立ち上げ等、外部に対しても徐々にこの会が情報を発信していく基盤造りの段階に来ているのかなあと感じました。総会しか参加していない身でありながら、少し生意気なことを言ってしまいましたね。これから、地区会やGW等、協力できることには参加してみたいと思いますので、よろしくをお願いします。

最後になりましたが、今回の総会のために準備をしてくださりました北海道地区の皆様、お忙しい中素敵な会を開催していただきありがとうございました。

# 北海道地区 活動報告

北海道地区 田原 さゆり

北海道地区では、4月の第2土曜日に地区総会を開催して1年間の活動を計画しています。また、地区総会のほかに見学会と勉強会を定期的な行事として開催し、学習しながら親睦を深めることに努めています。

平成15年度に行った活動

## 1. 地区総会

【日時】平成15年4月12日(土) 10:00~12:00

【場所】北海道開発土木研究所(札幌市)

【参加者】亀海、河合、佐藤、島村、中村、中山、舟山、田原

【議題】①H14活動報告、②H14会計報告、③H15活動計画、④全体総会について

## 2. 見学会

【日時】平成15年9月20日(土) 9:35~18:00

【場所】留萌ダム建設事業所(留萌市)

【参加者】江森、亀海、亀海 Jr.、河合、佐藤、佐藤 Jr.、三木、金坂(関東)、木原(関東)

## 3. 勉強会(+懇親会)

【日時】平成15年11月15日(土) 15:00~17:00

【場所】札幌市環境プラザ(札幌市)

【講師】河合菊子『会社員でない生き方って?』、中村朋子『若手技術者の話』、亀海泰子『海外でのお仕事』

【参加者】伊藤、江森、亀海、河合、佐伯、佐藤、中村、中山、三木、南、田原

平成16年度の活動予定

1. 地区総会(H16年4月10日に開催済み)

2. 総会準備(H15準備開始~総会終了まで)

3. 勉強会(8~10月)

(※今年度は全体総会があるため、見学会は実施しない。)

総会準備ウラ話

平成15年4月の地区総会にて、次年度の全体総会開催に向けた準備会を発足。代表は佐藤さん、見学会企画は島村さんが担当、河合さんが立ち上げた北海道地区のメーリングリストを利用し、できるだけ会議形式は避けることに。

平成16年4月の地区総会の時点では、島村さんのご尽力により(北海道から静岡へ転勤したにも関わらず…)見学会の段取りや宿泊先の手配がすでに整っており、また、ニセコ町長による講演会も伊藤さんのおかげで開催する運びとなる。総会幹事長の河合さん指揮の下、総会当日に向け具体的な役割分担に従いそれぞれが動き出す。連絡や確認等はすべてメールによるやりとり。筆者は飛び交う多数のメールを読むだけで精一杯(ごめんなさい…)

絶妙な連携によって準備は進んでいったが、今回特記すべきことは、ベテランに混じってパワフルな力を発揮してくれた若手、会計担当の江森さん、案内係や司会を務めた南さん、木村さん(突然のご指名で申し訳ない)の活躍ぶり。これを機に、地区活動のみならず会全体を活性化する動力になってくれるのでは?

みなさま、ほんとうにお疲れさまでした。

## 関東地区 活動報告

～新年会報告＋総会おまけの一人旅報告～

笹尾 圭哉子

### <新年会報告>

今年の新年会は、1月22日木曜日の午後7時から新宿のセンタービル地下1階にある「日東コーナーハウス」で行った。関東地区では2年前から毎年同じ店で集まることにしており、昨年から開催日も1月の第4木曜日に固定した。というのも、イタリアンっぽくて料理のおいしいこの店が気に入ったことと、場所と日時を固定することで、予定を立てやすくなり、参加しやすくなるのではと考えたからだ。

しかし、残念ながら、新年会への参加者は年々少なくなっている。それはそれで、久しぶりの人ともじっくり話ができて楽しい時間ではあったが、催す側としては寂しいものがある。出欠届けと一緒にいただくコメントには、様々な理由で行きたいけど無理とのことが記されている。最近は見学会への参加も少ないし、みんな、仕事や子育て、体調不良などいろいろあるのだろう。自分でも思い当たるものもあるので仕方ないと思う。でも、参加しなきゃ、楽しくないでしょう!今年も後半に見学会などを催す予定なので、一人でも多くの会員みなさんに参加して欲しい。

ところで、新年会では年度末を目前に、日ごろのストレスがプチバクハツし、いつもより多めに酔っ払ってしまった。勉強会の後にも懇親会があります。ストレスバクハツさせたい方(も)、歓迎します。

### <総会おまけの一人旅報告>

北海道はニセコでの総会の後、せっかくだからもう一泊して小樽に行こうと思い、ニセコに近い倶知安に宿を取った。

数年前、やはり北海道での総会の後、数人で足を伸ばして小樽へ行き、私は「北一硝子」で母にブローチを買った。バラの形の、細かいガラスが散りばめられたブローチで、自分でも気に入ってしょっちゅう母から借りて使っていた。ある日、ブラウスにブローチを付けたまま洗濯機に入れてしまい、ガラスピースのいくつかが取れてしまった。このブローチを修理してもらうのが旅の目的の一つだった。

たまには一人で北海道の自然に身をゆだねてみたい、なんて気にもなっていた。駅弁を買って電車に乗った。札幌から小樽へは、線路沿いに海が見えた。夕方だったせいか暗く、波が荒れていた。すぐに街灯りが遠ざかり、大きなイヌタデが群生し、車両の脇に触れるほどだった。北海道は露も大きい。コルボックルでも出てきそうな景色が続く。各駅停車のせいか、地図上のイメージとは違い、倶知安までの距離は予想以上に長かった。

倶知安から小樽方面への電車は2時間に1本しかなく、翌朝は眠いのを我慢して8時台の電車に乗った。小樽は真夏のように暑くて、道に迷いながら歩き回ったため、あいた襟元は真っ赤に日焼けした。北一硝子に行き、ブローチは製作元で見ってもらうことになり、後日修理してもらった。ここは何度来てもきらきらと光るきれいなものばかりで、まったく目の毒だ。札幌にも寄った。こちらは打って変わって涼しくて、北海道は広いと思った。

千歳空港では新しくできた韓国料理の店でつけ麺を食べた。空港のお店にしては珍しくおいしいと思った。次回は何を食べて何を買おうか、今から楽しみにしている。

# 土木技術者女性の会ホームページ立ち上げ WG 活動報告

野上 有実子

本ワーキングは平成14年度総会で発足し、平成15年度総会でホームページ公開を承認されています。平成15年度活動についてご報告いたします。

## ●ウェブサイトについて

役員の査読を経て公開をする予定です。

URL <http://www.womencivilengineers.com/>

その他、サーバの管理、会員専用ページの個別パスワード設定作業、事務局関連ページの作成を事務局が行っています。

私を含めたメンバーの転勤等で本年度は WG としてはあまり活動しておらず、未完成でありつつページにして公開したという状況です。HP で会の活性化、事務処理の簡略化など望まれることが多いのを切々と感じておりますので、来年度中に計画に基づいた成果を残して参りたいと思います。

## WGメンバー

リーダー	野上 有実子	オブザーバー	中村 恭子
作業メンバー	岩本 理恵	作業メンバー	川原 好恵
作業メンバー	田村 真佐子	作業メンバー	平永 佐知子

その他事務局のご協力をいただいています。

## ●ホームページ WG 活動計画

前年度に計画として上げ、達成できていない下記について完成させ、また総会での意見をふまえて本格的な運用を図りたいと思います。

- ・会員限定の掲示板の設置
- ・会員専用ページの個別パスワード設定作業
- ・各地で行われている勉強会等についての情報を全会員で共有できるしくみ作り
- ・コラム、掲載記事の未完成部分の完成
- ・書き込み、利用方法のルール作り等
- ・簡易版としての携帯サイト作成の検討
- ・「輪」の編集と同じように各地区に WG メンバーを設ける

今後の仕事はたくさんあり、公開後に発生する問題点もあろうかと思えます。

その対応を万全にいたしたく、1、2名のWGメンバーの増員を提案いたします。

また、ホームページ立ち上げWGとは別にウェブサイトの内容の更新をスムーズに行える体制が必要であり、HP編集長（仮称）を役員に加えることを提案いたします。



## “北海道らしい” 道路と私

北海道地区 江森宝子

北海道の道路といえば、ひろい、まっすぐ、景色が良くて、空いている、とこんなイメージでしょうか。ドライブするには最高ですよ。天気の良い日に北の大地を車で疾走するのはとっても気持ちがいい！！

北海道へ来て初めて現場へ向かった日の事は良く覚えています。車窓からの風景は雄大で、特に噴煙を上げている有珠山、そして海の向こうには蝦夷駒ヶ岳の姿が素晴らしい眺めでした。当初、あちこちの現場に行くたびに車窓からの眺めに密かに感動していたものです。これぞ北海道！！気分爽快でした。

その前の週、研修で景観の授業のとき「北海道らしい道路とは？」ときかれました。雄大な大自然、景色と答えがでて、「他には？」との問いに、私は「矢羽根」と答えました。矢羽根とは、道路の端を示す下を向いた矢印板です。濃霧や吹雪による視程障害の著しい箇所や積雪が多い箇所に設置されていて、除雪や通行の際の目印となります。見通しのよい道路では、これが両側に一定間隔に並んでいてなかなか壮観なのです。雪の降らないところで育った私は、（他の積雪地域にもあるらしいのですが）これは北海道らしい景観だと思っていま



した。しかし、私の感覚はずれていたようで、この矢羽根は景観を損ねるものの代表物らしいのです。（でも、多くの人に北海道らしいとして認知されているようです。）確かに、ない方が自然でいいですよ。

たとえば、道路を走っていると羊蹄山が目に見える道路があります。ガイドブックや雑誌の表紙に使われるほど美しい場所でした。しかし、何メートルも雪が降る冬期の為に今は矢羽根が設置されていて、この写真は掲載されなくなりました。冬期の安全確保の一方で、夏の景観も壊してしまったのです。他にも防雪柵などの積雪期の施設に限らず一般の標識や電柱が障害していることもあります。これらを撤去したり、より自然と融合する形に変更したりしています。

近年は、道路環境の良さもあり、マイカーやレンタカーなどを利用した個人ツアーが増えていて、ドライブによる景観を楽しみにしている割合が高くなっているそうです。道路そのものが観光地ということで、美しい景観、快適なドライブ環境づくりへと上記の他にもさまざまな取り組みが始まっています。上記の矢羽根も夏期の観光シーズンには、撤去している区間もあります。（シーニックバイウェイ）

はじめはずれていた私の美的感覚も、北海道各地を巡ったり仕事を通していろいろ知識を得ていく中で、少しずつ養われつつあるのではないかと思います。一人ぶつぶつとこうしたらいいのに、と考えることもしばしば。年に数回、関東の端っこの実家に帰ると、改めて北海道の道路環境との違いを実感します。景観だけにとどまらず、ほかにもいろいろとあるのですが。ぜひみなさんにも北海道の道路を走っていただいて、お住まいの地域との違い、そしてより“北海道らしい”景観を見つけていただきたいな、と思います。

# 道路とワタシ

関東地区 三村啓子

道路は、人が都市生活というのを営むための必需品だと思ったのが、20年以上前の大学生の頃です（ああ、もうそんなになるのですね。夜ふかしがこたえるのも尤もです）。当時、父親の「土木へいくのなら、学費を出してやろう。」発言を受け、母親の「家から通えるところね。」条件を付加、身の程を考慮した結果、とりあえず大学生となったものですから、その先が、ぼんやりとしていました。「就職する。できれば、他人に養ってもらわなくても生きていけるようになる。」てなもんです。

根が生真面目なものですから、講義にはきちんと出席します。ぼちぼち、土木系の知識が増えてゆきます。時々、退屈だなあと居眠りもします（この辺、今も同じですな）。そんななか、なんとなく思ったのが「道路を創る仕事がしたい。」このなんとなくから出発して、今のワタシがあるのですから、人生なんてちょっとしたきっかけです。

昭和の終わり（平成の始めとも言います）当時の女子学生の就職先は、コネでもない限り、公務員かコンサルタント、コンピューター関連でした。入社試験すら受けられなかったのですから、隔世の感があります。

その貴重な面接の席で「道路を創りたいのですが、やらせてもらえますか？」と逆質問、「もちろん」と言ってくれた会社にもぐりこんで、16年目の夏を迎えております。都市内高速道路を創る仕事が9年、社内LANに1年半、街路を創る仕事が2年半、都市内高速道路の維持管理が2年少々で現在進行中です。

「創る」では、新規建設（計画・調査・設計・施工管理）・拡幅（調査・設計）を経験しました。おもしろい。「道」といえば、ルートであり、それ以上でもそれ以下でもない場合がほとんどですが、「道路」はルートであり、収納空間であり、背景であり、庭先であり、商品であり、ギャラリーであり、貴重な都市内緑地であり、都市に暮らす人にとっては空気に近いものだと思います。一昔前の震災（ほんつとに早いです。連日のテレビ放送に釘付けになっていた時、お腹に居た息子は、小学校4年生。（心配していたよく言われる火事の映像に起因する痣はありません）後は、避難空間、延焼防止帯としても評価を受けています。コミュニティ道路なんてのもちょっと前、流行りました（今は、歩行空間の充実でしょうか）。

ひとつの構造物に色々な機能を持たせて、沢山の人が一緒に使うものなんて、そうそうありません。しかも、皆の物＝誰のものでもないんですからややこしい。いろんな人が、其々の立場で、いろんなことを主張します。マトマラナイ。でも、創らなくてはいけない。「～せねば。」と思った（思わされた）人がやるんです。どんなすばらしい絵を描いたところで、絵のままでは「道路」としての役には立たないんです。不満や後悔は残っても、形になってこそ。「貴方の立場では、貴方の言い分はもっともですが、この道路を使う沢山の人の中には、違う立場の方もいるんですよ。で、こんなところで、如何です？」

「道路を創る」は、「意見調整」なのですね。面白い。ワタシのなんとなくは、大当たり！でした。今、「維持管理」は、もっと面白いと感じています。「守り」の仕事が、ワタシには、ぴったりではないかと思っています。担当路線が、かわいくて仕方がありません。「おまえ達、けなげだねえ。頑張ってるよねえ。よしよし、おばさんが助けてあげるから。」

道路とワタシは、これからも良い関係が続きます（そうなるといいなあ）。

## お疲れ様・・・そしてよろしくお祈いします

2004 年は、会長を始め、役員的大幅な交代がありました。  
交代に当たって、会の運営に当たっている役員の方たちからメッセージを  
頂きました。

### 会長退任の弁

前会長  
所 靖子



約束の5年間が過ぎて、人なつこくてしっかりしている佐藤さんへ無事バトンタッチできてほっとしています。みなさんありがとう。

この会に入って女性技術者が本当に苦勞したり努力されて活躍されていることを知りました。先の総会後の講演会でニセコ町長の「民主主義」のお話を聞いて、「土木技術者・公僕」の使命に胸が詰まる思いでもあります。

この会に入っていることで、普通の公務員よりちょっとは世間が広いのではないかと自信を持っています。中部地方から離れたことのない人生ですが、北海道や東北、東京、大阪等に友人がいます。皆、土木の仕事や土木と繋がる大切な仕事をしている女性技術者です。一年一回しか会わない人、数年に一回の人もありますが、会誌やHPで意見や情報交換をして本当のことを知ろう、なにかをもっと良くしていこうとしています。

私も、今より少しでも良い仕事をしていきたいと思えます。また今後とも

良い活動をしていきたいです。ありがとうございました。

### 会誌編集長の交代にあたって

前編集長  
山本美子



2000 年度から 2003 年度まで、8冊の「輪」の編集長を担当しました。その間、地区の編集担当も順に交代してきました。地区編集担当の方々、投稿くださるの方々、感想メールをくださるの方々に支えられて、三十数ページの会誌を年2回発行してきました。

私が編集長の期間で定着したことは、

- ・総会や役員会の決定事項・連絡事項を掲載すること
- ・「会員のページ」「就業環境」のシリーズで、メーリングリストを使ったアンケートを実施し会員に参加してもらうこと
- ・「出張の友」などコラム欄を作ったこと
- ・投稿規程と査読ガイドラインを作ったこと

などです。硬い企画と気楽な企画を組み合わせ、ちょっとした時間に読んでもらえ、そして、テーマごとにじっくり読んでもらえるような内容にしてみました。

原稿提出期限が過ぎても原稿がなかなか集まらず、「待つて」という連絡もないときなど、孤独でした。事務局を通じて印刷発注をしていたため、グラフや写真の印刷が私の意図したようには仕上がってなくて、がっかりしたこともありました。東京での役員会への参加は、時間的にも金銭的にも負担になりました。

でも、「会の行事に参加する時間がないけれど

会誌を通じて会員であることを確認できる」という会員の声に励まされました。これからも全国各地でがんばっている会員の声を伝え合う会誌として、時代に相応しい発行形態を工夫しながら、続けていって欲しいと思います。地方在住の会員として応援していきたいと思っています。

## 会計より

会計  
渡辺弘子



会計の渡辺です。現在、会費のほとんどは会誌「輪」の発行費用に使われています。逆に言えば、皆さんの会費が会誌「輪」の発行を支えているわけですので、会費は期限までに納入してくださいね。総会や地区活動、WG活動など集まる機会はいくつもありますが、私は「輪」こそが会員みんなをつなぐ基幹だと考えています。

さて、私的近況。仙台へ転居してはや3年目。冬の寒さは予想以上に厳しいですが、空も雪も山も原っぱも大気も街並みも「美しい」の一言。細々と始めた自宅事務所も、相変わらず細々としつつも何とか続いています。今は自宅の一室で、犬を足元に猫を手元に侍らせて仕事しています。こんな仕事ぶりは数年前までは予想もできなかった状況で、会社大好き人間の私なのに会社に行かなくても暮らせることがわかり、いくつになっても劇的な展開であるのだなあと思議な毎日です。

## 便利なシステムが 導入されます

事務局  
佐藤亜紀子



平成 12 年より事務局スタッフとして活動しております佐藤亜紀子です。今年度も引き続き、会員データベース管理と会費収納事務を担当しております。これまで、事務局業務の負担軽減を念頭に作業の効率化を検討してきましたが、今年度中、もしくは来年度の早い時期に次の2つの便利なシステムが導入されます。

まず、1つめは、ホームページの開設です。本号にホームページの紹介が掲載されていますが、会員外への情報提供はもとより、会員限定のページでは、変更届をウェブ上から出来るようになります。

2つめは、郵便口座からの「会費の自動引落とし」です。詳細については、本号に同封された「会費の自動引落としのご案内」をご覧ください。本来であれば、全ての金融機関の口座を対象したいところですが、会の規模や負担する手数料等の理由で、郵便口座のみを対象としました。払い忘れもなくなりますし、負担する手数料も少なくなります。

是非、「会費の自動引落とし」の利用申込をお願いします。



## 居心地の良い 北の大地

北海道地区世話役  
河合菊子



関西地区→関東地区→関西地区→北海道地区と流れ流れて早 10 数年。

北の大地は思いのほか居心地がいい。理由は何？暑くないから？否。今年の夏は暑い。エアコンも扇風機もない生活は、実は大阪や東京の夏よりはるかにツライ。スキーができるから？間違いではないけれど、昨シーズンは一度もやってない。食べ物？確かにそうだけど、神戸で育ち、京都で学生時代を過ごした私には瀬戸内のお魚やハイカラなケーキや和菓子が無いのはツライ。じゃなに？

人だ！ごくわずかの知人しかいなかった北海道で3年。「土木技術者」と呼べるような仕事はしていない。それでも、いつの間にか生きていく土台を作ってしまったのは、土木技術者女性の会のつながりがあったから。めったに会わなくても、いざとなったら「休め」「抱え込むな」「誰某に助けを求めよ」と助言をもらえる関係。会費のもとを取ったぞ！！！！

というわけで、地区世話役の役割は、私のように会費のもとを取る会員が増えるよう、地区内、地区内外の情報の交通整理をすることと見た。

とは言うものの、やはり土木技術者女性の会を建設的に解消できる日が来ればいいのに、と思う。女性だからという理由で集まる必要がない、そんな環境を作りたい。そのために何が必要で、私に何ができるかについて、今度は地区世話役の立場からじっくり考えたい。

前任の佐藤厚子さんからいただいた「一人で抱え込まないように」のアドバイスを忘れずに、しばらくお世話になります。北海道地区のみなさん、全国のみなさん、どうぞよろしく！

## 地区活動を 活性化したい

関西地区世話役  
小林千恵



引き続き、関西地区の世話役をさせていただくことになりました。地区活動の活性化の必要性を感じながらも、自分自身役割を果たしきれていないところもあり、地区の皆さんにも迷惑をかけること多々あると思いますが、皆さんの協力を得ながら進めていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い致します。

## 子育て中

副会長  
桑野玲子

社会人となってから15年余の月日が経ちましたが、その間、建設会社、英国留学、大学と様々な職場を転々とし、現在は公的研究機関で地盤工学の研究や公共建設工事への技術対応に追われています。昨年子供が生まれてからは公私ともにフル回転のドタバタの毎日で、総会や地区の行事などへの参加の機会が減ってしまいましたが、できる範囲で会の活動を支えていきたいと思えます。よろしく申し上げます。



## ホワイトニングは 必要経費

ホームページWG  
野上有実子



ホームページWGの野上有実子です。  
平成14年度の総会で発足し現在6名のメンバーと事務局のご協力をいただき活動をしています。

今まで受け身だった会の活動に少しでも、お役に立てればと思っております。

仕事は建設会社で施工管理をしており、現在は静岡県で第二東名のパーキングエリア工事に携わっています。初対面の人に「サーファー？」と聞かれるくらい日焼けしています。そのため、この季節はホワイトニング経費がかさんでおります。

今後ともよろしくお願ひします。

## 歌って踊れる土木屋

事務局  
柏倉志乃

大成建設(株)国際支店に勤務しております、柏倉と申します。歌って踊れる土木屋を目指しています。仕事では、海外工事の入札対応をしています。同じ会社に13年も勤務していると嫌気がさすこともあります。総会などで皆さんのご活躍を目の当たりにすると、私もがんばらなくては、と心が奮い立たせられます。今後とも会の活動にご協力をお願いします。などと言う前に、まずは自分が協力しないとね。はい。会の活動には参加していただくことが一番ですが、ご多忙な女性には諸事情もおありのことと思います。心の片隅にでも留めておいていただき、ふと思い出した頃、久し振りに参加してみる、といった感じのつながりでもよいと、個人的には思っています。ただ、会費だけは忘れないでね。

## 転職しました

編集長  
中村恭子



多忙な建設コンサルタントを希望退職し、時間の自由なサービス業を始めたと思いきや、何だか前職より忙しくなっていました。現在の仕事は、がん患者の生活をサポートするコーディネーター。具体的には、治療について医学用語を患者にわかる言葉で説明する講習会の講師をしたり、抗がん剤で髪の毛が脱毛する患者さんにかつらの選び方を教え、メーカーの紹介をしたりしています。脱毛中に必要な帽子や付け毛（そんなものもあるんです）などの販売（ネットショップ）もしています。

少人数なので、理系で数字に強い？私は経理や総務なども一手に引き受けていて、本当に寝る暇がない。

がんは、今や治る病気です。勿論早期発見が条件ですが……。皆さんも検診は受けて下さいね。

そんなこんなで、暇になると思って請け負った編集長の仕事がなかなか思うようにはかどりません。今回の発行が遅れたのは、忙しさに任せて原稿の催促をしなかった私の責任です。編集のやり方もようやく飲み込めてきたので、次号からはちゃ〜んとつとめを果たしますね。

申し訳ありません。

# ◆会員のページ◆

編集担当: さゆりん

今回のテーマ: 日本、再発見  
まだまだあります日本のいいところ

## 問1: 日本でおすすめの場所はズバリここ!

- 秋田の武家屋敷、遠野、飛騨の高山、能登半島の棚田、石狩川下流蛇行河川、新潟平野湿地帯→米所の痕跡(今年は大変そう)。
- 個人的には中小都市でのんびりしたところが好きです。好印象としては松江で、3泊でしたが行政も住民も、まち全体で迎えてくれた感じがしました。
- 西表島の弓ヶ浜から見る夕日。
- 知床。海を見る。それだけでいい。ってかそれしかないし。
- もしも通勤族の家庭に育った方でしたら、子供の頃に住んでいた町に行ってみるといのはいかがでしょうか。先日の総会に出席したついでに足を延ばして、中学校当時住んでいた札幌の家を訪ねてみました。もちろん今は別の人が住んでいるのですが、当時と変わらぬたたずまいに感激しました。猫好きのお宅らしく、たくさんの猫がいたのも嬉しかった(\*^^\*)
- 屋久島! 2年前に3泊ほどで、遊び

に行きましたが、さすが世界遺産。良いところでした。また行きたい!!

●京都は哲学の道のそばの法然院。観光ルートのそばにありながら、人が少なくてとっても静か。東山の麓で緑がほんとうに多く空気もきれい。本堂の縁側に座ってぼーっとしていると、1日はあっという間に過ぎる(が、蚊に刺される)。

●①長野が一番好き。特に松本、それから上高地。上高地の田代池は水の流れているだけで落ち着く。②桜の吉野、もみじの京都も好き。③函館元町の坂や小樽の運河沿いに散歩するのもいいな。④氷見のうどんもすごくおいしい。⑤あっ、吉野のくずうどんも。吉野はついでにわらびもち(くずもち)も絶品。⑥北海道で食べた夕張メロンの香りが忘れられない。

●青森県の奥入瀬に近い、蔦温泉。ぬるめのお湯で、周りに雑木林があり、何時間でも入ってられる露天風呂

が素敵でした。

●富士市あたりから見た富士山。とってもきれいな稜線で、富士市あたりは富士川もあり、川と山の両方が絵はがきのように配置された景色は見とれます。富士市の近辺ではしらす、桜海老も名物で、食べ物もおいしいものがいっぱいです。

●岐阜県の高山よりもっと山奥の御岳夜、星空は圧巻です。

●夏から秋の間なら十和田湖、奥入瀬渓流散策がお薦めです。(冬は閉鎖)遠足で行った時はやだったけどな。

●「大分県院内町」日本一石橋の多いところ。その数80橋余。江戸時代から明治、大正、昭和戦前期の橋まで、それぞれの時代の特徴を残しています。これを案内して下さるのが地元「石橋ボランティア」で、みなさん一般の主婦だったりするのですが、実によく勉強していて感動的です。

## 問2: 近場にもあります、おすすめスポット

- 山城町環濠集落、伊賀の忍者屋敷、滋賀県新旭町風車村。
- ジョン・レノン・ミュージアム併設の喫茶店のロイヤルミルクティー。(さいたまスーパーアリーナ内、JRさいたま新都心駅徒歩2分)
- ディズニーシー。「アンコール!」と「ミスティックリズム」だけの為に行く。そこでこの二つを何度も見る。毎回泣く。
- 北海道の十勝という青空とお菓子和食材のあふれた所に住んでおります。ラフティング(スリルある川下り)など、自然体験型にも力を入れ始めています。でもいっつも何か足りないと感じております。(自分が知りたい、近場スポット)

●下田の海をオススメします。弓ヶ浜あたりは季節によっては西表島にも負けないくらいの透明度があります。真夜中1時頃に都内を出れば朝の6時には泳ぎ始められますよ~。

●平和島クアハウス。平日 1,700 円で温泉三昧。駐車場無料! 映画館、食事処、ドンキホーテ、競艇場あり。眠らない、BIG FAN 平和島...結構、楽しいです。

●札幌の円山にある「森彦」っていう喫茶店。ふる——————い民家を改装して使っている。冬、車で行ってスタックしそうになった。

●①横浜中華街の菜香市場通り店の海老蒸クレープは最高! 今すぐでも食べた

い。②青梅の梅祭りも楽しいよ。地域全体がうらうら梅祭り。吉川栄治記念館にはいろいろな山野草があるし、その近くの従業員全員女性の喫茶店は季節のお菓子がおいしい。③勝沼はくだものとワインが豊富。東京から近くて便利。④大多喜城やハーブ園など、見も心もゆったりする。甘党にはつぶあんぎっしりの十万石もなかがあるよ。

●①彩湖。お休みの日にお弁当を持って出かけたかったです。②首都高速湾岸線。夜の車窓からの景色が素敵です。③東京タワー。ノスタルジックな気分になります。③三鷹の森ジブリ美術館。子供と一緒に楽しめます。④サンシャイン60。水族館

やプラネタリウムがあって、子供と一緒に一日たっぷり遊べます。⑤花の丘公園(さいたま市)。子供と一緒にお弁当を持って遊びに行っています。

●さいたま新都心のジョンレノンミュージ

アム。年代順に部屋が別れていて、雰囲気も音楽も全く違います。最後の部屋はファンじゃなくても、ウルツとします。愛と平和を考えるのではなく、感じられる場所です。

●銀座の伊東屋。上から下までみれば、こんな文具が、という掘り出し物がかならずあって、しばらく遊べます。

### 問3：女性同士で教えたいおすすめのお宿泊施設

●八幡市第三セクター四季彩館、9時までだがお風呂もある。

●鹿児島：ホテル吹上荘。ホテルと言っても旅館で天然温泉、室内の浴槽が木製でした。繁華街に近く、照国神社の隣、美術館等も散策範囲にあります。

●赤坂プリンスホテル。(近いけど、夕焼けがきれい)

●貧乏ごっこが好きなら結構地方の小さなユースは面白いよ。

●「ファミリーロジック旅館屋」というチェーンのホテルはオススメです。4人で一室1万円～という破格の値段なのに内装も綺麗です。素泊まりですが朝ご飯にパンとコーヒーが食べ放題！

●フォンテーヌ・ブロー(山中湖と白馬八方にあります)。帝国ホテルに勤めていたオーナーシェフが作る料理は、絶品です。

温泉付きで、ゆっくりするにもとても良い宿です。食事だけでも元を取れます！お風呂が全て、貸切(無料)なので、カプセルにお勧め(?)。

●すぎもと(松本、美ヶ原温泉)。もちろん、温泉！和風旅館です(貸切温泉(無料)あり)。部屋もとてもきれいで、落ち着きます。食事が長野の特産物が多く出てきて、とても美味しいです。

●渋谷の東急セルリアンタワー。部屋もとってもいいけど、なんといっても朝御飯が秀逸！ふつーのbuffetと思うなよ〜!!! まったくの洋食。ホテルの朝食が充実しているフィンランドのホテルにも匹敵!!!

●京都円山公園横のレディースホテル「長楽館」です。4,000円代の宿泊料金で、祇園や高台寺に行きやすい立地条件です。お風呂は共同で、門限(23時?)があ

りますが、設備は古いながらも、アンティークな内装が古き良き時代って感じす。2人用の洋室をお勧めします。

●今まで良かったのは大多喜ハーブ園のプチホテルとホテルモントレ札幌かな。

●帝国ホテルの女性限定プラン。伊豆の七滝のあたりにある温泉宿。(たくさんの温泉に入ることができる)

●国府津駅前の国府津館旅館、魚の料理が抜群に美味しい。宿としては明治の建物で古いけど落ち着けます。

●旧NKK、現JFKの保養所。友達がいたら是非一度合宿など。熱海がイチオシ。

●奈良町の静観荘。もと遊廓を旅館にしたもの。なお風呂、トイレ共用なので、そこが譲れない方は無理でしょう。ただし近くには銭湯がたくさんありますから、そちらを利用するのもなかなかいいものです。

### 問4：なんといってもお土産はこれ

●ニッキの利いた生八つ橋、宇治の茶団子、出石そば。沖縄の紫芋(鹿児島でも穫れるらしい)。

●やっぱり旅の思い出は、その土地ならではの形ある物がいいと思っています。(壁掛けや、置物)

●富山のマス寿司。

●新幹線の中でわさび漬けを買う。よそでは買わない。わさび漬けとはそういうもの。

●友達に旅先で一筆、絵葉書を書くのがアツイです。「おみやげ」とは言わないかも知れませんが、普段ご無沙汰している相手にコンタクトを取るいいきっかけにもなりますし。

●鳩サブレ(軽い、おいしい)、崎陽軒のシューマイか(つい最近、お醤油差

しがプラスチックになったのは残念!)、小川軒(目黒)のレーズン・ウィッチ(夏場はお土産にできないけど)。

●大阪のビジネス街淀屋橋に本店がある神宗という昆布屋さんです。売りきれご免の営業スタイルで、今ほど店舗が無かった時期は阪神百貨店開店10時間前から並んでました。おすすめは塩昆布です。

●広島みやげは川通り餅がいいね。

●①愛知のぼんかくのえびせんべい。

②さいたま市の加茂宮駅のすぐ近くにあるナチュラルベーカリーのパン。(国産小麦、天然酵母を使用し、とってもおいしい)③愛知の寿がきやのラーメン。④愛知の渥美半島のメロン。

⑤愛知のおおあさり(おおきな蛤くらい

の大きさのあさりで、網で焼いて醤油をたらして食べるととってもおいしい)。

●今さらでも、なんだかんだいっても地方限定・おっきいお菓子シリーズなんか選んじゃいます。特におやつカンパニー(ベビースター)は必ず買ってしまいます。

●①氷見うどん食べたい。氷見はブリもおいしかったし、めずらしいお菓子がたくさんあった。②菜香のチャーシューまんも食べたい。③福岡空港のふまんじゅうもいいな。明太子も。④考えてると何も手が付かなくなるのでこの辺で。



## ##### 新入会員紹介 #####

〈2004年冬号以降に入会された方〉

みなみ ともえ  
南 朋恵（北海道） 国土交通省 北海道開発局

- 5年勤めた建設会社を退職し、昨年、北海道開発局帯広開発建設部帯広道路事務所に勤めることになりました。受注者から発注者という逆の立場になってみて、新しい大変さや、やりがいを感じています。経験を生かしながらいものを造っていきたいと考えています。

(2004.3.25 受付)

あだち みつえ  
足立 美津江（中部） 国土交通省 中部地方整備局 愛知国道事務所

- 入省6年目になり、今年度名古屋に転勤してきました。初めての工事発注担当課の所属となり、なかなか状況がのみこめず、勉強の毎日です。プライベートでは、今年2月に結婚しました。甘い新婚生活...ではなく、夫が仕事(民間の建設業)で沖縄にいるため、すでに別居中で別居婚生活をおくっています。周りの心配をよそに、本人はのんびり過ごしています。ただ、今は独身と変らないためよいのですが、今後子供を持ったとき、仕事と家庭を両立していくことができるのか不安です。この会でぜひ皆様から助言を頂きたいと思います。

(2004.6.15 受付)

ひろせ まりこ  
廣瀬 麻里子（関東） 前田建設工業(株)横浜支店 土木部

- 前田建設工業(株)の廣瀬麻里子と申します。平成13年の土木技術者女性の会総会に参加させていただきまして、今回2回目の参加となります。私は4年間関東支店で現場の仕事(造成・アンダーパス構築)を経験し、昨年より横浜支店土木部で設計、積算、各種解析を行っています。仕事の都合上、各地区の総会に出席することは出来ないかとは思いますが、今後ともよろしく願いたします。

(2004.6.26 受付)

たかはし あいこ  
高橋 藍子（関東） 首都高速道路公団

- はじめまして、高橋藍子と申します。現在、首都高速道路公団に勤務しており、入社4年目になります。入社後2年間は、中央環状新宿線を建設する部署でトンネルの設計に携わってしました。昨年の5月に異動し、現在の部署では首都高速神奈川線の維持・管理業務に携わっています。この会に入会しようと思ったきっかけは、建設関係の仕事をしている多くの女性技術者の方々と情報交換が出来る場ということで、今後の自分にプラスになるのではないかと思ったからです。まだまだ経験が浅く技術者としては未熟ではありますが、活動には積極的に参加していきたいと考えておりますので、よろしく願いたします。

(2004.8.23 受付)

たけのうち あやこ  
竹之内 綾子（関東） 鹿島建設(株)土木設計本部

- 今年入社し、設計部橋梁グループに配属になりました。現在はおもにPC橋梁の設計業務を行っております。「自分が設計に関わった橋を渡ることを楽しみに...」と言ったら、「楽しむ気持ちよりも心配な気持ちの方が大きい...」とある先輩に言われました。その気持ちが分かるようになった今日この頃です。この会を通して、土木の様々な分野で働いている方のお話を聞き、刺激を受け、成長していきたいと思います。

(2004.8.24 受付)

ふくやま たかこ  
福山 貴子（関東） 鹿島建設(株)技術研究所

○建設会社の研究所で主に海洋構造物について実験や解析などを行っています。この会を通して、全国の土木系技術者の女性の方々と交流できることを楽しみにしています。

(2004.8.27 受付)

おおた きみえ

太田 喜美恵 (関東) 鹿島建設(株)開発事業本部

○皆様、はじめまして。建設会社の開発事業を担当する部署で、社会人1年目として奔走する日々です。マンション開発が現在の主な業務ですが、土木・建築の技術が融合して完成する都市開発に早く携われればと思います。様々な分野で活躍されている女性土木系技術者の方々と出会えるこの貴重な機会を活かして、皆様からの刺激を受けつつ自分自身も成長していければと思っています。よろしくお願いします。

(2004.9.1 受付)

すずき れいこ

鈴木 玲子 (関東) (有)ユニゾン

○景観資材の販売と施工の会社を立ち上げて1年半になります。地球の温暖化防止策やリサイクル問題など、身近な環境問題からランドスケープに興味を持ちました。適切な資材が問題改善につながるのではと考えています。夢は、環境に優しい舗装材が都会のヒートアイランド現象を少しでも改善し、また、子ども、老人、障害者、健常者すべてが快適に生活できる環境を作ることです。今後は緑化も含めたトータルな背景デザインの提案ができるような知識、人材を備えた会社にしていくつもりです。

(2005.4.1 受付)

はこた ゆうこ

箱田 裕子(関東) (株)山海堂

○職務内容: 土木書籍の編集

この会に期待すること: 私は、土木書籍の編集をしています。今はこの仕事にやりがいを感じていますが、ずっと、土木の現場で仕事をしたいと就職活動をしていました。皆さんのお仕事は、すごいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

(2005.5.20 受付)

### 会員数(2005年5月31日現在)

総数 158名

(北海道地区 20名 関東地区 89名 中部地区 22名 関西地区 27名)

## 土木技術者女性の会

### <会の目的>

- 1．土木界で働く女性技術者同士のはげましあい。
- 2．土木界で働く女性技術者同士の知識の向上。
- 3．女性にとって魅力ある、働きやすい土木界の環境作り。
- 4．女性土木技術者の社会的評価の向上。
- 5．土木技術者をめざす女性へのアドバイス。

### <倫理規程>

会員は、会の目的を実現する際にあたって、下記の倫理規程を遵守するものとする。

- 1．会員は、会の目的に沿って、各々の良識のもとに、正しく品位ある行動をする。
- 2．会員は、所属組織を代表するものではなく個人の立場で会の活動に参加する。
- 3．会員は、会の活動において、業務上の利益に結びつけるいかなる行動も行わない。

会費振込先（郵便振込）

口座番号 00160 - 5 - 358129

加入者名 土木技術者女性の会

「輪」への投稿は地区編集担当へ、  
その他、お問い合わせ、ご意見は、事務局

〒107-8502 東京都港区赤坂 6 - 5 - 3 0

鹿島建設株式会社 土木設計本部 須田久美子

TEL 03-6229-6654

FAX 03-5561-2156

E-mail suda@kajima.com

まで、お願いします。

輪（りん） 2004年特別号（第42号）

2005年6月1日発行

土木技術者女性の会

The Society of Women Civil Engineers